

平成28年度農業青年組織等活動活性化事業  
(地域青年農業者等グループ活動活性化助成)

事業主体名 阿久根市農業青年クラブ” AGRIS”

### 1 目的

クラブ員の生産する農産物を地元阿久根市の各種催物会場にて販売することで、消費者や異業種従事者に農産物をPRし農業への理解を促進するとともに、地域活性化を図る。

### 2 実施状況

#### (1) 阿久根市の各種催事への参加

##### ①みどこい夏祭り踊り連で活動をアピール！

阿久根市では、毎年夏に阿久根駅から薩摩川内市方面へ約2kmにわたり国道3号線を封鎖して、市内の各種団体が賑やかに踊り歩く祭りが開催される。

アグリズでは毎年黄緑色の法被に白足袋姿でこの祭りに参加し、”阿久根市にはこんなに元気で明るい青年たちが農業やってるんで！”とアピールし、街を盛り上げている。



##### ②阿久根市産業祭で農産物販売！

阿久根市では毎年様々な祭りが催されているが、なかでも12月に阿久根市総合グラウンドで開催される「阿久根市農業祭」は、市外からも多くの出店者が集う一大イベントである。

アグリズは毎年この祭りに参加し、農産物の販売を行っている。ちょうどお歳暮の時期ということで贈答用の「大将季」や「ぼんかん」は特に人気が高く、10時の開店前に数人が列を作るほどだった。

また、表皮に傷があったり形がいびつで市場には出せない「不知火」を、スーパー袋詰め放題千円で提供したり、子供用プールにミニトマトをまるで金魚のように放した「ミニトマトすくい」、産地直送”焼き芋を販売したりと、多くのイベントを提供し祭りを盛り上げた。



毎年恒例の餅つきでは、多くの買い物客につきたての餅を振る舞い、消費者との交流を図った。

#### (2) 休耕田での水稻栽培

阿久根市鶴川内地区にある休耕田を借入れ、クラブ活動の一環として水稻栽培を行った。

約3反歩の水田を、水揚げから田植え、定期的な除草や病虫害予防など、クラブ員が協力して取り組んだ。

クラブ活動で初めて水稻栽培を体験した青年も多く、段取りや管理については経験ある青年が中心となって作業をこなし、収穫はクラブOBがコンバイン持参で駆けつけてくれた。

忙しい農作業の合間を縫って水田作業に参加したことで、お互いの距離が縮まり、親睦を深めることが出来た。



### 3 今後の課題、取り組み

- ・阿久根市開催の各種催事における農産物販売を継続する一方、我が家の経営がおろそかにならないよう、出店する祭りの取捨選択を検討する。
- ・販売方法の工夫及び改善をはかり、売上を向上する。
- ・今年入手した「焼き芋製造器」の稼働率を上げる。